

# 総合戦略アクションプラン検証

令和7年8月 政策企画課



五島市  
GOTO CITY

(第2期総合戦略プロジェクト)

## 《基本目標Ⅰ》

五島の恵みを活かし、  
雇用を生み出す“しま”をつくる

## 《基本目標Ⅱ》

五島の魅力を発信し、  
世界に誇れる“しま”をつくる

## 《基本目標Ⅲ》

安全・安心で住みやすさ  
日本一の“しま”をつくる

## 《基本目標Ⅳ》

五島の宝・子どもが育ち、  
輝く“しま”をつくる

- 1-1 農林業振興プロジェクト
  - 1-2 水産業振興プロジェクト
  - 1-3 物産・ブランド振興プロジェクト
  - 1-4 企業誘致・地場産業振興プロジェクト
  - 1-5 再生可能エネルギー産業・次世代産業創出プロジェクト
- 

- 2-1 観光による交流拡大プロジェクト
  - 2-2 UIターン促進プロジェクト
  - 2-3 スポーツを通じた交流拡大プロジェクト
- 

- 3-1 健康で安心して暮らせる地域共生社会づくりプロジェクト
  - 3-2 インフラ整備プロジェクト
- 

- 4-1 結婚・出産・子育て支援プロジェクト
- 4-2 教育のしまづくりプロジェクト

## 数値目標

赤字:目標値達成

項目	現状(平成30年度)	目標(令和6年度)	実績値(令和6年度)
国境離島法による雇用創出数(累計)	285人	700人	692人
Nぴか企業数(累計)	0事業所	5事業所	<b>7事業所</b>
求人数に対する正社員の求人割合	33.0%	35.0%	<b>45.2%</b>
農林水産、物産、ブランド及び企業誘致・地場産業の施策に対する市民満足度	17.0%	35.0%	23.5%

## 基本的方向

- 地域を支える基幹産業の生産基盤・経営基盤を強化し、担い手が安心して参入できる“しま”をつくる。
- 稼ぐ力の向上を支援し、意欲的な事業者がチャレンジできる“しま”をつくる。
- 将来の五島市を支える新たな産業を生み出し“しま”をつくる。
- 島の恵みを積極的に島外に発信できる“しま”をつくる。

## 戦略プロジェクト

### 1. 農林業振興プロジェクト

- ◆経営基盤の強化
- ◆生産基盤の維持・整備
- ◆地域資源の活用

### 2. 水産業振興プロジェクト

- ◆経営基盤の強化
- ◆生産基盤の整備
- ◆加工品開発と販売・地産地消の推進

### 3. 物産・ブランド振興プロジェクト

- ◆ブランド化支援
- ◆販路拡大支援

### 4. 企業誘致・地場産業振興プロジェクト

- ◆企業誘致と就業支援
- ◆創業支援・経営力強化

### 5. 再生可能エネルギー産業・次世代産業創出プロジェクト

- ◆再生可能エネルギー産業の創出
- ◆次世代産業の創出

農業生産基盤の充実や担い手育成を図りながら、6次産業化や販路拡大により経営活性化を図るプロジェクト

## 基本的施策

### ①経営基盤の強化

### ②生産基盤の維持・整備

### ③地域資源の活用

## K P I (成果指標)

≪目標値を達成したKPI≫

K P I	目標値	実績
新規就農者数	10人	21人
中山間協定農用地面積	1,443ha	1,589ha
地元産木材地元消費量	1,800m <sup>3</sup>	2,326m <sup>3</sup>
担い手への農地集積率	46.0%	52.1%
耕作放棄地面積	420.0ha	410.6ha
椿油取引業者数	47社	63社
椿関連商品の売上額	69,509千円	566,317千円



## 実施した主な事業

### 【輸送コスト支援事業】

農畜産品の移入・移出にかかる海上輸送費を支援。

### 【五島市優良雌牛導入事業】

繁殖雌牛の質・量の向上を図り、農家所得の向上に繋げる。

### 【県営経営体育成基盤整備事業】

小区画の水田を大区画整備による用水の安定確保、水田汎用化、大型機械の導入等による農業経営の規模拡大を図る。

### 【椿植栽推進事業】

地域資源である椿を植栽し、椿油の安定生産を図る。

≪目標値を達成していないKPI≫

K P I	目標値	実績
認定農業者数	261人	241人
繁殖雌牛飼養頭数	5,200頭	4,725頭
子牛生産頭数	4,210頭	3,754頭
地元産木材製材品の島外出荷量	600m <sup>3</sup>	293m <sup>3</sup>
輸送コスト支援事業の出荷量	6,950t	3,423t
水田区画整備面積	1,136ha	1,121ha
畑地帯区画整備面積	425ha	341ha
林道整備延長	151km	134km
有害鳥獣による農産物被害額	7,450千円	13,244千円
学校給食における地場産物(野菜)利用量割合	43.0%	26.7%

## 今後の取組

- 有人国境離島法など国や県の補助制度を活用しながら、担い手の確保及び農地集積率の向上に取り組む。
- 繁殖雌牛の増頭支援を図りながら、子牛価格低迷や配合飼料の高騰対策など、市内畜産農家の所得向上に取り組む。また、一部一貫経営を推進することで、市場リスクを抑え、経営の安定化を目指す。
- 基盤整備について、経営規模の拡大や生産性の向上を図るため、意欲ある地域を中心に整備を推進し、優良農地の確保と農地の集団化・流動化を促進する。
- 自生椿林整備事業、椿植栽事業で整備した椿林の管理指導に取り組むとともに、高齢等の理由により管理が困難な椿林を代理収穫につなげ、椿油の安定生産を図り、取引業者数の増加を目指す。

持続可能な水産資源の活用と担い手育成を図りながら、6次産業化や販路拡大により経営活性化を図るプロジェクト

## 基本的施策

①経営基盤の強化 ②生産基盤の整備

③加工品開発と販売・地産地消の推進



## K P I (成果指標)

### ≪目標値を達成したKPI≫

K P I	目標値	実績
マグロ出荷量	2,000t	2,178t
輸送コスト支援事業の出荷量	5,872t	9,943t
漁港整備改良箇所数	1箇所/年	1.4箇所/年
藻場の回復面積(累計)	3.0ha	22.9ha
新たな加工・販売施設の整備件数(累計)	10件	11件

### ≪目標値を達成していないKPI≫

K P I	目標値	実績
新規就漁者数(独立型)	4人	2人
五島♨の匠の人数(累計)	30人	29人
漁師食堂の利用者数	5,500人	0人

## 実施した主な事業

### 【新規漁業就業者育成確保事業(独立型)】

漁家子弟やUターン者に漁業技術を習得させ、地域に根付くことで、漁業後継者の増加と漁村の活性化を図る。

### 【輸送コスト支援事業】

水産物の移出及び移入にかかる海上輸送費等を支援することで、競争力の強化及び販路拡大に繋げる。

### 【藻場を活用したカーボンニュートラル促進事業】

藻場再生活動により、持続可能な海洋資源の確保を図る。また、再生した藻場が海底に蓄えるブルーカーボンを活用して、藻場再生活動の財源に補填する。

### 【五島鮮魚出荷技術向上対策事業(五島♨)】

「五島♨の匠」として人を認定することによる差別化でブランド化を図り、販路拡大と所得向上に繋げる。

## 今後の取組

- 漁業就業を希望する若者の確保に積極的に取り組み、地域漁業の担い手を一人でも多く確保することで地域活性化を図る。
- 更なるマグロ養殖基地化を目指すため、マグロ養殖産地協議会による赤潮講習会や情報交換等を通じて生産基盤の強化と活性化を目指す。
- ブルーカーボン認証率向上のための調査、低・未利用資源の利活用化と海藻種苗基地づくり及び藻場(磯焼け)の情報発信等を推進する。
- 五島♨については匠の育成を、販路拡大については、五島♨の鮮魚を中心とした商談を引き続き進めていく。また、長崎大学の協力で、五島♨の売りの「見える化」を進め、数値等による差別化を図る。

物産ブランド化や各種の販売促進、情報発信等の強化により大都市圏などへの流通拡大を図るプロジェクト

- ### 基本的施策
- ①ブランド化支援
  - ②販路拡大支援



### K P I (成果指標)

### 実施した主な事業

≪目標値を達成したKPI≫

K P I	目標値	実績
新たな加工品の開発件数(累計)	80件	105件
大都市圏(東京、福岡)での市産品取引店舗数	150件	154件
大都市圏(東京、福岡)バイヤー招聘による取引成約件数	60件	64件
ふるさと納税返礼品取引額	55,000千円	224,983千円

- 【五島産品プロモーション強化事業】**  
 百貨店や飲食店などのバイヤーや料理人を招聘し商談を行い、都市圏での販路獲得、売上の増加につなげ、雇用の拡大を図る。
- 【島外への集荷受発注運用事業】**  
 市内に構築した集荷システムを運用し、市内から大都市圏までの新たな物流体制を構築し販路拡大に繋げる。
- 【ふるさと納税推進事業】**  
 寄附金増加による歳入確保、市内事業者の売り上げ拡大及び寄附金の活用による地域活性化を図る。

≪目標値を達成していないKPI≫

K P I	目標値	実績
五島市物産振興協会の売上額	362,000千円	152,615千円
前年度と比較して売上高が増加した五島市物産振興協会会員の割合	75.0%	57.8%
集荷システム構築による売上高	37,000千円	35,479千円

### 今後の取組

- バイヤー招聘や五島フェアの実施、海外販路開拓も含めた商談会への出展を実施し、五島産品の販路拡大や市内事業者の売上向上を図る。**
- 既存顧客からの発注減について原因究明と改善を行うと共に、引き続き市産品セールスプロモーション事業等と連携して新規取引先も増やしていく。**
- 寄附額の増は「市内事業者の売上拡大及び、寄附金の活用による地域活性化に寄与する。」ことにも直結する。返礼品の充実、取扱事業者の新規開拓、ポータルサイトを通じた効果的な広告、各種リアルイベントでの広報活動などを実施する。**

## 既存事業者の経営力強化と企業誘致・起業促進を両輪に、産業育成を図るプロジェクト

### 基本的施策

- ① 企業誘致と就業支援
- ② 創業支援・経営力強化

### K P I (成果指標)

#### ≪目標値を達成したKPI≫

K P I	目標値	実績
法令に基づく派遣事業実施団体の組織化(累計)	1団体	1団体
起業・創業件数(累計)	33件	37件
中小企業振興資金新規貸付による新規雇用者数(累計)	45人	88人
経営コンサルタント活用事業所数	10社	30社

#### ≪目標値を達成していないKPI≫

K P I	目標値	実績
誘致企業数(累計)	9件	6件
誘致企業従業員数(正社員)	128人	70人
高校生新卒者地元就職者数	43人	34人



### 実施した主な事業

- 【企業立地及び雇用促進事業】  
市内外企業の工場等の立地を促し、雇用の拡大に繋げる。
- 【国境離島地域維持補助金(雇用機会拡充事業)】  
市内での創業及び事業拡大を行う事業者を支援し、雇用創出する。

### 今後の取組

- 企業誘致については、企業誘致プロモーション事業を活用し新たな企業との関係構築、市内視察の受入れを実施し誘致実現に繋げる。
- 市内で開催される企業説明会などへの積極的な参加を促すとともに、中学、高校などへの出前講座による誘致企業の紹介や、企業との情報交換などを行うことで、正規雇用者の増につなげる。
- 特定地域づくり事業協同組合に対する運営支援を行っていく。
- 起業・創業を目指す事業者等に対して制度の周知を図り、雇用機会拡充事業等を活用することで、起業・創業の促進を図る。
- 雇用機会拡充支援事業を活用した事業者に対しフォローアップのため、引き続き経営コンサル派遣事業を実施する。

## 海洋再生可能エネルギーの実用化とロボットやIoTなどの次世代産業の創出に向けたプロジェクト

### 基本的施策

- ①再生可能エネルギー産業の創出
- ②次世代産業の創出

### K P I (成果指標)

#### ≪目標値を達成したKPI≫

K P I	目標値	実績
実証事業数(累計)	2件	3件
クリーンエネルギー車の普及台数(累計)	160台	174台
技術開発等に関する実証事業誘致件数(累計)	4件	9件
ドローン等サービス創出数(累計)	1件	2件

#### ≪目標値を達成していないKPI≫

K P I	目標値	実績
浮体式洋上風力発電設備容量(累計)	20MW	2MW
再生可能エネルギー関連企業の従業員数(累計)	100人	95人



### 実施した主な事業

#### 【電気自動車導入促進事業】

五島市EV・ITS実配備促進協議会に対して、急速充電器の設置及び撤去費、電気使用料や修繕料などの維持管理費を助成し、環境にやさしい観光先進地を目指すことで観光振興に寄与する。

#### 【再生可能エネルギー分野先端技術開発支援事業】

再生可能エネルギー分野において、AIやIoTなどの先端技術を活用した取組を実施する事業者を支援する。

### 今後の取組

- 環境省「潮流発電による地域の脱炭素化モデル構築事業」(R4~R7)に、九電みらいエナジー(株)を事業実施主体とする提案が採択された。五島市内の電力系統に接続し、実際の送電を行うなど、商用化を目指した実証運転が期待される。
- 浮体式洋上風力について、8基程度のウインドファームを建設し、令和6年1月に供用開始することで工事を進めていたが、浮体構造部2基に不具合が発見され、再建造することが決定。(令和8年1月に運転開始予定)
- ゼロカーボンシティ計画に基づき、年度ごとに電気自動車の導入計画を掲げている。また、公用車の更新時に、低燃費車、ハイブリッド車、電気自動車の導入を検討するとしており、今後はガソリン車の更新時に合わせて、原則、電気自動車を導入する。

## 数値目標

赤字:目標値達成

項目	現状(平成30年度)	目標(令和6年度)	実績値(令和6年度)
観光客入り込み客数	240,131人(平成30年)	300,000人(令和6年)	200,384人(令和6年)
延べ宿泊数	168,495泊(平成30年)	210,000泊(令和6年)	221,837泊(令和6年)
観光消費額	86.7億円(平成30年)	100.0億円(令和6年)	90.1(令和6年)
Uターン者数 (ワンストップ窓口利用者数)	202人(平成30年度)	300人(令和6年度)	222人(令和6年度)

## 基本的方向

- おもてなしの心で、再び訪れたいくなる“しま”をつくる。
- Uターン者をサポートし、住み続けたいくなる“しま”をつくる。
- スポーツを通じて交流する“しま”をつくる。
- 五島の魅力を発信し、国内外から選ばれる“しま”をつくる

## 戦略プロジェクト

### 1. 観光による交流拡大プロジェクト

- ◆五島の魅力を活かした旅行商品・体験プログラムの造成
- ◆ジオパークの仕組みを活かした取り組み
- ◆受入基盤の整備
- ◆セールス・プロモーション

### 3. スポーツを通じた交流拡大プロジェクト

- ◆誘致活動の強化
- ◆スポーツ施設等の充実
- ◆スポーツを通じた地域振興

### 2. Uターン促進プロジェクト

- ◆受入体制の整備
- ◆情報発信・プロモーションの推進

戦略的な営業、広報宣伝活動と島内での観光情報・素材整備により、国内外の観光客の誘客強化を図るプロジェクト

## 基本的施策

- ①五島の魅力を活かした旅行商品・体験プログラムの造成
- ②ジオパークの仕組みを活かした取り組み
- ③受入基盤の整備
- ④セールス・プロモーション



## 実施した主な事業

### 【おもてなしのしま五島プロジェクト事業】

滞在型観光の推進による宿泊促進及び交流人口の拡大を図る。

### 【ジオパーク推進事業】

座学や学校での授業、情報発信を通じ地域資源の価値の理解が進み、住民による活動や企業によるツアー実施など、ジオパークを活かした取組を増やす。

### 【インバウンド誘致業務】

ターゲット地域からの誘客に実績のある旅行会社、メディア等のうち国内にその拠点のあるものを招致する。

## 今後の取組

■世界遺産、日本遺産、日本ジオパークなどを組み合わせた旅行商品の造成に取り組み、新たな誘客とリピーターの獲得を図る。

■五島市を舞台とする映画やドラマ、情報番組などのロケ誘致を推進し、制作会社や地元関係者と連携しながら、効果的な情報発信を行う。

■令和5年にリニューアルオープンした鑑瀬ビジターセンターをジオパーク活動の拠点として活用すべく、体験プログラムや情報発信体制の充実を図る。

■県と連携を図りながら欧米豪や東アジアのターゲットごとに当市の魅力を発信するとともに、市内事業者との連携を強化し、インバウンド受入体制を充実させるとともに、宿泊施設等の各種表示等(パンフレット、リーフレット等、自社サイト)の多言語化を図る。

## K P I (成果指標)

### ≪目標値を達成したKPI≫

K P I	目標値	実績
宿泊客1人あたりの延べ宿泊数	1.6泊	1.65泊
講座及びジオツアー参加者の満足度	80%以上	88.6%
キャッシュレス設備の稼働事業者数	72社	104社
大型船誘致数	5隻	5隻

### ≪目標値を達成していないKPI≫

K P I	目標値	実績
世界遺産関連ツアーへの参加者数	4,000人	2,064人
着地型旅行商品の利用客数	8,000人	6,631人
民泊許可軒数	170軒	138軒
常時受入可能な民泊軒数	100軒	55軒
教育旅行受入人数	5,000人	2,001人
観光ガイド登録者数	60人	39人
受入のための講習会などの受講者数	250人	60人
世界遺産ガイド登録者数	30人	17人
観光客レポート意向	68.0%	40.2%
来訪者の満足度	90.0%	79.6%
外国人観光客数	3,000人	
外国人対応ガイド登録者数	5人	3人

ワンストップ窓口の整備による情報発信・受入体制の強化と住まい・仕事の確保などによるUIターン促進を図るプロジェクト

## 基本的施策

- ①受入体制の整備
- ②情報発信・プロモーションの推進

## 実施した主な事業

- 【空き家活用促進事業】**  
移住希望者へ空き家の情報を提供する「五島市空き家バンク」へ登録された物件の改修等に要する経費の一部を助成し、移住しやすい環境を整備する。
- 【奨学金返還支援助成金】**  
市内で就労する35歳未満の方の奨学金の返還費用の一部を助成し、若年層の定住の促進及び市内の産業を担う人材の確保を図り、人口減少対策を推進する。
- 【移住支援金(わくわく地方生活)】**  
東京圏から移住した方に、マッチング支援事業及び創業支援事業に基づく移住支援金を交付し、定住の促進並びに人手不足の解消を図る。

## K P I (成果指標)

≪目標値を達成したKPI≫

K P I	目標値	実績
移住相談件数	462件	743件
空き家バンクの成約軒数	33軒	48軒

≪目標値を達成していないKPI≫

K P I	目標値	実績
移住者の5年間定着率	85.0%	79.8%
40歳未満のUIターン者の移住者数	225人	119人

## 今後の取組

- 空き家バンク登録の増加の取組として、地域おこし協力隊を募集中。リフォーム補助金、家財処分補助金の周知、活用相談を強化して、新たな物件の発掘に取り組む。
- 子育て世代を中心とした孤立による不安を解消するために、移住者同士や地域の方との交流の機会をNPO法人、まちづくり協議会等と連携して情報提供し定着につなげる。
- 移住者数を増やすため、引き続き、都市圏での移住相談会やオンライン移住相談を実施する。
- SNSを活用して若い世代への情報発信を強化する。



## 企業や大学などのスポーツ合宿の誘致による交流人口の拡大と経済活性化を図るプロジェクト

### 基本的施策

- ①誘致活動の強化
- ②スポーツ施設等の充実
- ③スポーツを通じた地域振興



### K P I (成果指標)

#### ≪目標値を達成したKPI≫

K P I	目標値(R5年度)	実績
スポーツ集客イベントの開催数	6大会	6大会

#### ≪目標値を達成していないKPI≫

K P I	目標値(R5年度)	実績
スポーツ合宿延べ団体数	130団体	78団体
スポーツ合宿延べ宿泊数	4,800人	3,420人
スポーツ施設利用者数	1,309人	853人
スポーツ集客イベントへの参加数	5,300人	3,811人

### 実施した主な事業

#### 【スポーツ交流人口拡大推進事業】

スポーツ合宿に係る宿泊・交通費の一部補助や合宿環境の支援等を行い、合宿実施団体の増加を図ることで、地域間交流を促進し、市内スポーツの競技力向上と経済の活性化を図る

#### 【五島市中央公園長寿命化事業】

五島市唯一の総合運動公園である中央公園の老朽化した各施設の改修を進め、市民及びスポーツ合宿来島者の利便性の向上を図る。

#### 【五島長崎国際トライアスロン大会事業】

令和元年以来、4年ぶりに実施。日本でも数少ないロングの大会。

### 今後の取組

- 新たな合宿団体を獲得するため、令和7年度末に完成、翌令和8年度から供用開始予定のクロスカントリーコースを効果的にPRすることで、既存団体の定着化や新規団体の獲得に繋げていく。
- 施設の充実やスポーツ大会の開催、スポーツ合宿誘致を行い、施設利用者の増加に努めていく。
- 施設・設備の改修については、利用者のニーズを把握し、今後も長寿命化事業等により計画的に実施していく。
- 3大イベントに次ぐ新たなスポーツ集客イベントの「マラニック大会」や「グランド・ゴルフ交流大会」を定着させ、スポーツを通じた交流人口の拡大を図る。

## 数値目標

項目	現状(平成30年度)	目標(令和6年度)	実績値(令和6年度)
特定健康診査受診率	37.0%	60.0%	37.5%
がん検診受診率	13.2%	25.0%	14.9%
住みやすいと感じる市民の割合	79.0%	80.0%	67.6%

## 基本的方向

- 地域コミュニティ維持と活性化による絆の“しま”をつくる。
- 日本一健康で住みやすい“しま”をつくる。
- 障がいのある人もない人も共生する“しま”をつくる。
- 島内・島外ともにアクセスしやすい“しま”をつくる。
- 社会生活基盤が整備された安全・安心な“しま”をつくる。

## 戦略プロジェクト

### 1. 健康で安心して暮らせる地域共生社会づくりプロジェクト

- ◆地域コミュニティの維持・活性化
- ◆質の高い医療・介護サービスの提供
- ◆健康で長生きできるしまづくり
- ◆障がい者の自立支援

### 2. インフラ整備プロジェクト

- ◆公共交通機関の維持・活性化
- ◆社会生活基盤の整備

離島先端医療拠点の形成による健康長寿のしまづくりを図るとともに地域コミュニティを維持し効率的で質の高い生活支援サービスの提供を図るプロジェクト

## 基本的施策

- ①地域コミュニティの維持・活性化
- ②質の高い医療・介護サービスの提供
- ③健康で長生きできるしまづくり
- ④障がい者の自立支援

## K P I (成果指標)

### ≪目標値を達成したKPI≫

K P I	目標値	実績
新たな地域課題解決に向けた取り組み	39件	59件
地域課題解消に向けた大学との連携事業数	15件	15件
医師数の人口1万人対率	20.3%	23.4%
看護師数の人口1万人対率	99.4%	114%
生活支援サービス創出数	6	15
認知症サポーター数	4,380人	5,360人
認知症初期集中支援チームの訪問件数	165件	286件
地域ミニデいの設置件数	40件	42件
要介護認定率	20.5%	19.1%
重症化予防事業からの医療機関受診率	50.0%	54.1%
地域ミニデイ住民ボランティア登録者数	200人	204人
高齢者対象ニュースポーツ教室等開催数	12回	12回
地域生活支援拠点等の整備	1箇所	1箇所
相談支援対応件数(基幹相談支援事業所)	1,600件	2,010件



### ≪目標値を達成していないKPI≫

K P I	目標値	実績
地域おこし協力隊の定住率	60.0%	36.7%
五島日本語学校留学生数	100人	91人
調剤情報システム市民加入者割合	45%	37.7%
認知症カフェ設置箇所数	6箇所	5箇所
がん検診精検結果の把握率	100.0%	95.7%
高齢者緊急通報事業(シルバーホン)利用者数	40人	39人
シルバー人材センター会員数	300人	184人
相談支援対応件数(障害者就業・生活支援センター)	2,000件	1,603件

# Ⅲ-1 健康で安心して暮らせる地域共生社会づくりプロジェクト

離島先端医療拠点の形成による健康長寿のしまづくりを図るとともに地域コミュニティを維持し効率的で質の高い生活支援サービスの提供を図るプロジェクト

## 実施した主な事業

### 【地域の絆再生事業】

地域住民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、住民同士が互いに支え合う「地域の絆」の再生を図るとともに、市民力を結集し、地域の特性を活かしたまちづくりを推進する取組を展開する。

### 【集落支援員事業】

各地区に集落支援員を配置し、それぞれ「まちづくり協議会」の事務局を担いながら集落の課題解決に向けた活動を行う。

### 【地域おこし協力隊事業】

都市部の意欲ある人材を積極的に受け入れ、新しい視点や発想によって新たな価値の創出や地域の活性化を図ることを目的として、地域おこし協力隊を配置する。また、地域協力活動を通じて、任期終了後の地域への定住定着を図る。

### 【地域医療情報共有化事業(調剤情報システム活用事業)】

市、五島中央病院の救急窓口、消防、調剤薬局でつながる調剤情報システムを運用し、調剤情報を一元化し、服薬指導で医療費削減につなげる。

### 【地域ミニ・デイサービス事業】

高齢者が要支援者や要介護状態となることを予防するとともに、要介護状態等となった場合においても自立した日常生活を営むことができるよう、自発的、主体的に参加する高齢者の交流の場と生きがいづくりを目指す。

### 【認知症総合支援事業】

認知症への理解を深める認知症サポーターを養成するほか、介護者のストレスに寄り添い、また認知症の方の不安を軽減する認知症カフェを設置する。

### 【障害者相談支援事業】

地域移行支援や地域定着支援による常時の連絡体制や緊急事態等の相談支援、親元からの自立や地域での暮らし等、障がい者やその家族からの相談に応じる。

### 【地域活動支援センター事業】

障がい者に創作的活動・生産活動の機会を提供することにより、社会との交流を促進し、自立した生活を支援する。

## 今後の取組

■五島市協働のまちづくり基本方針に基づき、住民および職員のまちづくりへの意識醸成を図るとともに、まちづくり活動へ参画しやすい仕組みづくりに取り組む。

■地域おこし協力隊については、今後も隊員の目標を明確にし、任期終了後の定住を見据えた活動計画を策定するなど、現在の活動と任期終了後の定住について、十分に協議しながら進めていく。

■地域医療情報共有化事業(調剤情報システム活用事業)について、引き続き同意取得活動を継続する。(加入促進のため、調剤薬局窓口、こども未来課新生児訪問時において同意取得推進を実施)

■地域ミニ・デイサービスについて、ボランティアの確保により既存団体の活動維持に取り組むとともに、生活支援コーディネーターとの連携により新規団体の立ち上げに努める。

■認知症総合支援事業については、第3期 五島市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略では、R11年度末までに認知症サポーター養成講座受講者数(H20年度からの累計)6,080人、認知症カフェ参加者数は年に200人を目標として取り組みを継続する。

■令和7年度から市直営で障害者基幹相談支援センターを設置した。障害者相談専門職を4名配置(予定)し、総合相談・専門相談、権利擁護・虐待防止、地域移行・地域定着支援の取組を行うこととしている。社会福祉法人に委託していた相談支援事業も市直営での実施としたため、さらに専門職の確保が重要な課題である。

■「福祉の相談窓口」を含め、各相談窓口の周知を図るとともに障害者の方が安心して生活できるようサービス提供体制を整えていく。

# Ⅲ-2 インフラ整備プロジェクト

地域公共交通の再編・再生による利便性の向上と、道路や公共施設などの公共インフラの整備・再編を図るプロジェクト



## 基本的施策

- ①公共交通機関の維持・活性化
- ②社会生活基盤の整備

## 実施した主な事業

- 【国境離島運賃低廉化負担金】**  
航路・航空路の運賃低廉化を実施することで、離島生活における経済的負担の軽減を図る。
- 【デマンド型乗合タクシー運行費負担金】**  
AIを搭載した運行管理システムを導入し、電話予約制乗合タクシー運行。地域住民の買い物や通院等の交通手段を確保する。
- 【公共土木施設維持保全事業】**  
市道、河川、排水路を市民の陳情、要望に沿った維持管理を行う。
- 【浄化槽設置整備事業】**  
住宅及び事業所に設置する合併浄化槽設置者に補助する。

## K P I (成果指標)

### ≪目標値を達成したKPI≫

K P I	目標値	実績
路線・航路等検索サービス構築事業数(累計)	11件	11件
橋りょうの補修実施件数(橋りょう修繕計画)(累計)	55件	78件

### ≪目標値を達成していないKPI≫

K P I	目標値	実績
航路利用者数(基幹航路)	620,600人	458,008人
航路利用者数(二次離島航路)	212,000人	173,135人
空路利用者数	179,100人	177,041人
陸上交通機関(路線バス、乗合タクシー)利用者数	354,700人	316,762人
高齢者フリーパスの利用者数	300人	153人
公共土木施設維持保全対応率	80.0%	79.4%
汚水処理人口普及率	54.7%	51.5%
消防職員による防火・救急等に関する相談のための訪問件数	300件	232件

## 今後の取組

- 航空路に関しては、コロナ渦前(R1)よりも増えている。今後も運航事業者と連携しながら、利用者増に向けて取り組んでいく。
- 陸上交通については、福江・富江・岐宿・奈留地区に導入した電話予約制乗合タクシー「チョイソコごとう」と路線バスの融合によるバス路線の効率化(再編)を目指し、関係機関及び関係部署との組織横断的な連携のもと、地域公共交通のあり方についての調査・検討を引き続き行う。
- 第2期計画策定以降の橋梁点検の結果に基づき補修を実施し、補修橋梁は78橋となった。今後は、令和7年度から16年度までの期間で35橋の補修計画があり、第3期道路橋定期点検(R6~R10)の結果を反映し計画を更新しながら実施していく。
- 下水道事業計画が廃止となり、汚水処理は合併処理浄化槽の設置が重要となっている。今後も市民に対して補助制度の周知を行い、合併浄化槽の普及を促進していく。

## 数値目標

項目	現状(平成30年度)	目標(令和6年度)	実績値(令和6年度)
合計特殊出生率	1.93(平成29年)	1.97(令和6年)	未確定(令和6年)
出生数	221人(平成30年)	195人(令和6年)	130人(令和6年)
子育て支援満足度	54.0%(平成30年度)	63.8%(令和6年度)	47.0%(令和6年度)
教育環境満足度	52.8%(平成30年度)	71.3%(令和6年度)	50.5%(令和6年度)

## 基本的方向

- 出会い・結婚・出産・子育てを支援し、希望をかなえる“しま”をつくる
- 地域ぐるみで子どもを育て、郷土愛に満ちた子どもたちがいる“しま”をつくる
- 教育環境が整備された学びの質が高い“しま”をつくる

## 戦略プロジェクト

### 1. 結婚・出産・子育て支援プロジェクト

- ◆ 出会い・結婚支援
- ◆ 出産・子育て支援

### 2. 教育のしまづくりプロジェクト

- ◆ グローバル人材育成
- ◆ 郷土愛を育み学びの質を高めるための環境整備
- ◆ しま留学制度の推進
- ◆ 読書に親しむ環境づくり
- ◆ 高等学校の魅力化の推進

# IV-1 結婚・出産・子育て支援プロジェクト

出会い・結婚支援から出産・子育てまでの切れ目ない支援により、結婚の増加と子育ての環境整備を図るプロジェクト

## 基本的施策

### ① 出会い・結婚支援

### ② 出産・子育て支援

## K P I (成果指標)

#### 《目標値を達成したKPI》

K P I	目標値	実績
保育所・認定こども園待機児童数	0人	0人
乳児家庭全戸訪問事業の訪問率	100%	100%

#### 《目標値を達成していないKPI》

K P I	目標値	実績
婚活イベント参加者数(累計)	260人	253人
イベント等によるカップリング数	20組	15組
婚活支援団体数(累計)	4団体	0団体
子育て支援員数(累計)	33人	25人
家庭教育学級等の参加者数	1000人	536人
放課後児童クラブのクラス数	13クラス	11クラス

《家庭教育講座の様子》



## 実施した主な事業

### 【めぐりあい交流促進事業】

婚活イベントを実施し、独身男女の出会いを創出することで、成婚及び出生数の増加につなげていく。

### 【放課後児童健全育成事業費】

社会福祉法人等が運営する放課後児童クラブの運営費等を支援する。

### 【乳児家庭全戸訪問事業】

開業助産師に児童福祉法に基づく乳児家庭全戸訪問事業を委託し、月に一度、訪問結果の報告を受け、継続支援の必要性についてケース検討会を実施する。

## 今後の取組

■めぐりあい交流促進事業は、令和7年度も引き続きリアルイベントのみ3回の開催を予定している。島内在住者を中心により気軽に参加してもらえるような内容での実施を検討していく。

■乳児家庭全戸訪問事業については、妊娠届出時と妊娠後期(妊娠28週以降)に必ず助産師か保健師が面接を実施しており、早期の訪問が必要なケースや対象者の希望が把握できるため、妊娠期から出産、子育て期まで、切れ目ない支援を行うように努める。

# IV-2 教育のしまづくりプロジェクト

関係機関と連携した多様な教育計画による、確かな学力と豊かな心を併せ持つ世界に通用する人材の育成を図るプロジェクト

- 基本的施策**
- ①グローバル人材育成
  - ②郷土愛を育み学びの質を高めるための環境整備
  - ③しま留学制度の推進 ④読書に親しむ環境づくり
  - ⑤高等学校の魅力化の推進

**K P I (成果指標)**      <<目標値を達成したKPI>>

K P I	目標値	実績
だれかに英語で話しかけてみたことがあるか(市内全小学6年生対象意識調査)	60.0%	65.0%
CEFR(外国語のコミュニケーション能力指標)のA1レベル以上の生徒数率	60.0%	77.7%
イングリッシュキャンプ参加後の意識調査(英語学習へのさらなる意欲が高まったか等)	100.0%	100.0%
ふるさと活性化貢献支援事業 指定校数	8校	10校
教員一人当たりのICT機器活用頻度	9.0回/週	23.4回/週
学校図書館支援員の学校訪問回数	144回	246回

- 実施した主な事業**
- 【語学指導等を行う外国人青年誘致事業】  
外国語指導助手として、小中学校の英語の授業を行い、外国語や異文化にふれる機会をつくる。
  - 【ICT教育強化事業】  
各学校のICT教育を推進することにより、児童生徒の学力向上を図る。
  - 【しま留学受入事業】  
留学生を受け入れることにより、地域活性化の核である学校の存続を図る。

<<R5年度時点の目標値を達成していないKPI>>

K P I	目標値	実績
不登校児童生徒の割合	1.0%	4.4%
全国学力調査の国語における五島市と全国の正答率の比較	120.0%	98.6%
全国学力調査の算数・数学科における五島市と全国の正答率の比較	120.0%	96.7%
長寿命化計画に基づき改修工事を実施した学校数(累計)	16校	4校
しま留学受入人数	15人	9人
図書貸出冊数(図書館・公民館)	216,000冊	179,296冊
学校図書館児童1人当たりの月平均貸出冊数(小学生)	15冊/月	12.1冊/月
学校図書館生徒1人当たりの月平均貸出冊数(中学生)	5冊/月	1.6冊/月
下宿先受入可能人数	60人	52人

- 今後の取組**
- 五島市では、特例校の指定を受けて小学1年生から英語学習に取り組んでいる。小学1年生から英語に触れるメリットをを最大限に生かし、英語嫌いを減らしていきたい。
  - 各校でのICT活用の実践例を市内で共有し、「こんな使い方もあったのか」と知ること、授業の充実、働き方改革を進める。
  - しま留学については、留学希望者の現地訪問時に、学校だけでなくしま親宅を見学を必須とする。(しま親の家に馴染めず、しま親変更や留学中止を考える留学生が後を絶たないため)

# 令和6年度のKPI結果一覧

基本目標	数値目標合計数	評価			
		A (100%以上)	B (90~100%未満)	C (90%未満)	未確定
基本目標Ⅰ 五島の恵みを活かし、 雇用を生み出す“しま” をつくる	4	2	1	1	0
基本目標Ⅱ 五島の魅力を発信し、 世界に誇れる“しま” をつくる	4	1	1	2	0
基本目標Ⅲ 安全・安心で住みやす さ日本一の“しま” をつくる	3	0	0	3	0
基本目標Ⅳ 五島の宝・子どもが 育ち、輝く “しま”をつくる	4	0	0	3	1
総計	15	3	2	9	1

20.0%

13.3%

60.0%

6.7%